

2023年3月期 決算説明資料

2023年6月14日



新田せろ子株式会社



1. 2023年3月期 実績
2. 2024年3月期 業績予想
3. トピックス

〈ご案内〉

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。その情報の正確性を保障するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。

会 社 名	新田ゼラチン株式会社 (Nitta Gelatin Inc.)
代 表 者	代表取締役社長 尾形 浩一 (おがた こういち)
本 店	大阪市浪速区桜川4丁目4番26号
創 業	1918年(大正7年)1月
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場(証券コード 4977)
資 本 金	3,144百万円
連結売上高	391億円(2023年3月期)
連結従業員数	1,023名(2023年3月末)

1. 2023年3月期 実績

1. 2023年3月期 実績

業績推移 ①: 売上高

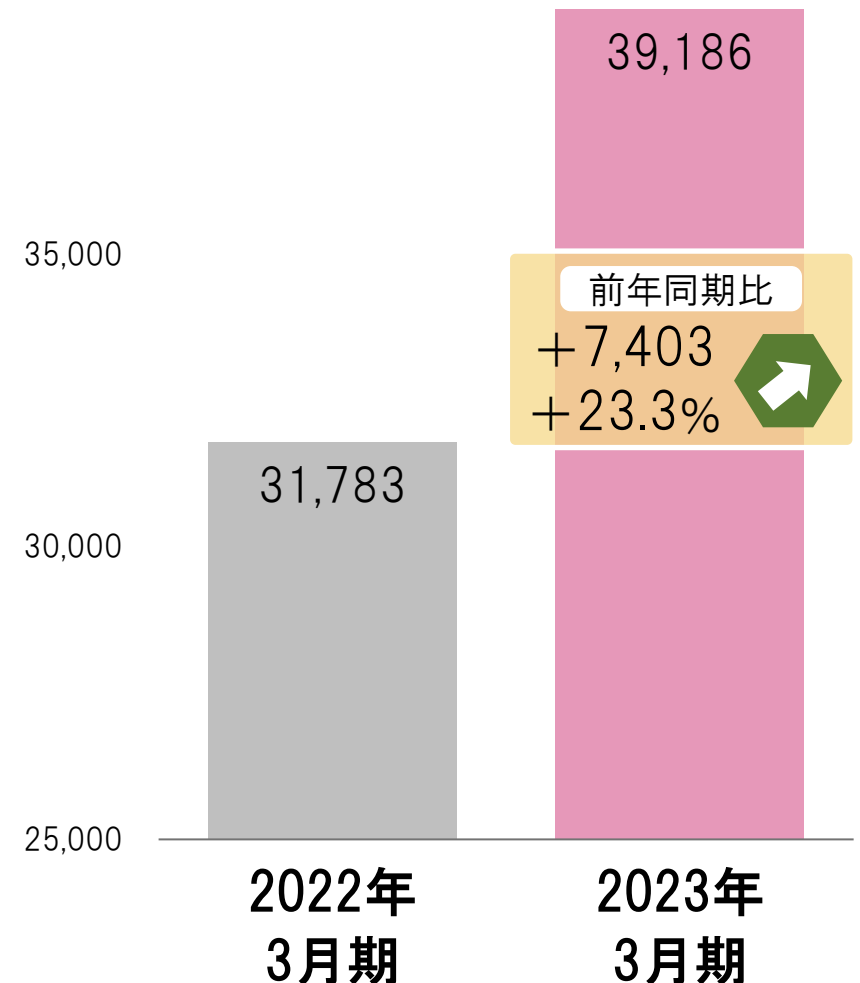
売上高 **39,186**百万円

前年同期比 **+7,403**百万円
+23.3%

- フードソリューション、ヘルスサポート、スペシャリティーズとも価格改定により売上伸長
- 円安による海外売上増加

(百万円)

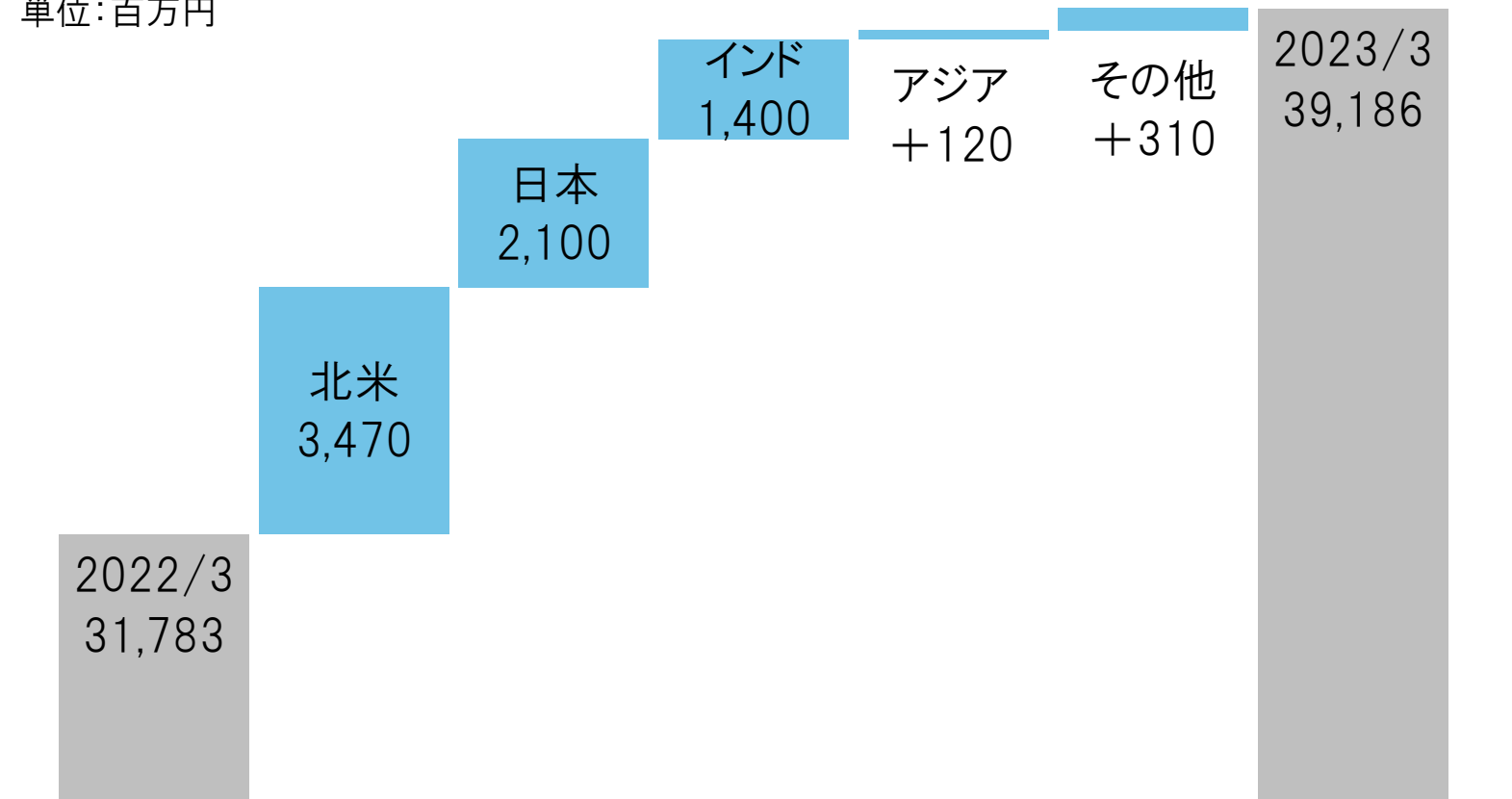
売上高



1. 2023年3月期 実績

連結売上高増減要因(前年同期比)

単位:百万円



1. 2023年3月期 実績

業績推移 ②: 営業利益

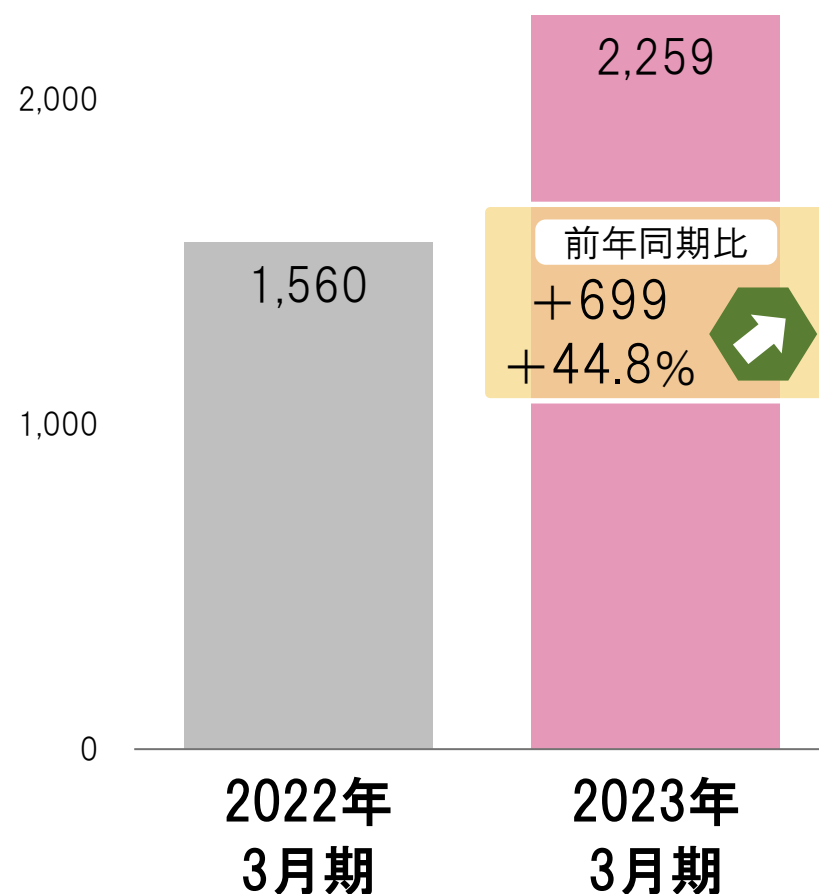
営業利益 2,259百万円

前年同期比 +699百万円

+44.8%

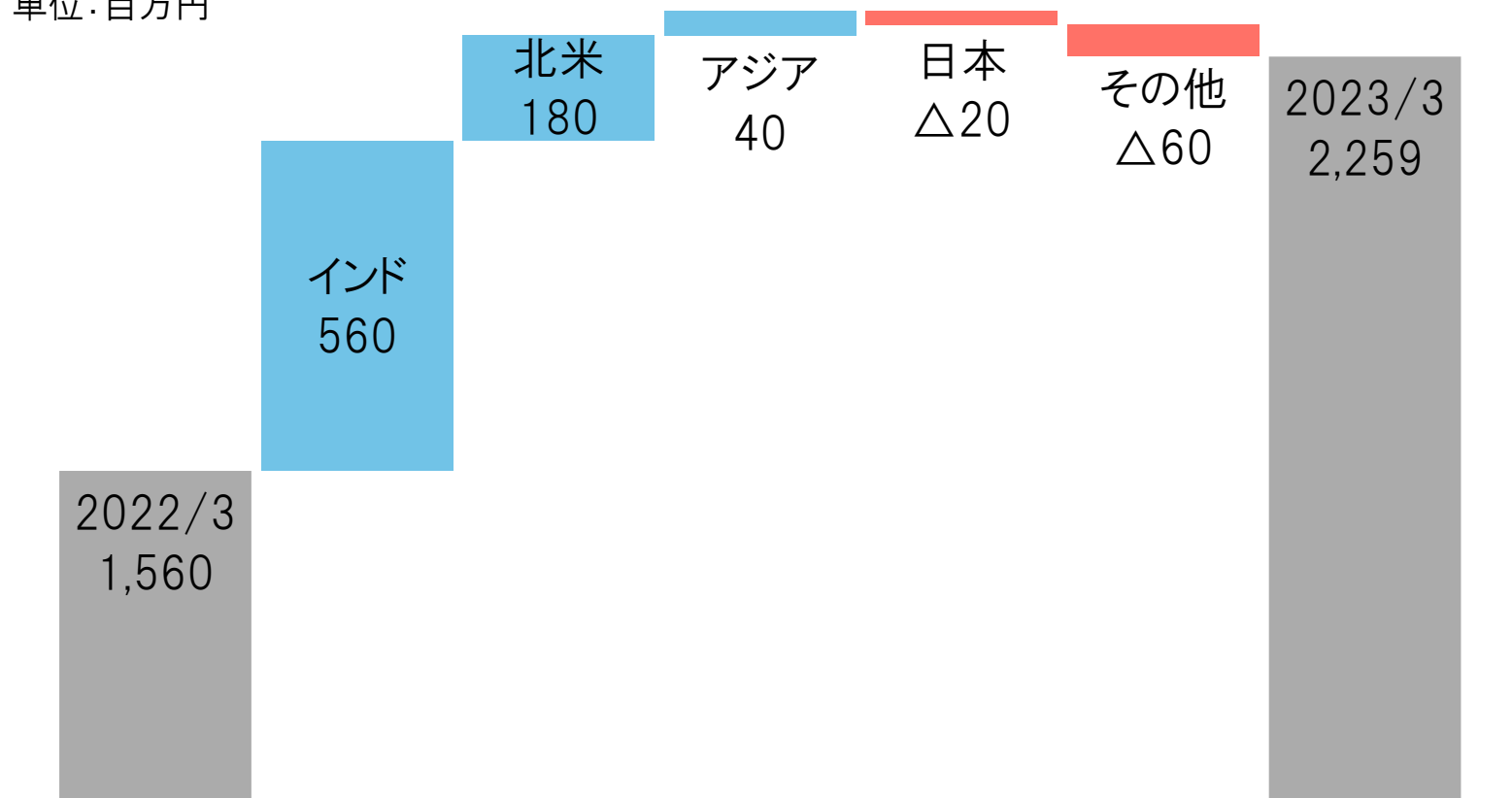
- インド、北米での増益
- 日本は生産コスト
及び販売管理費増加

(百万円)



連結営業利益増減要因(前年同期比)

単位:百万円



1. 2023年3月期 実績

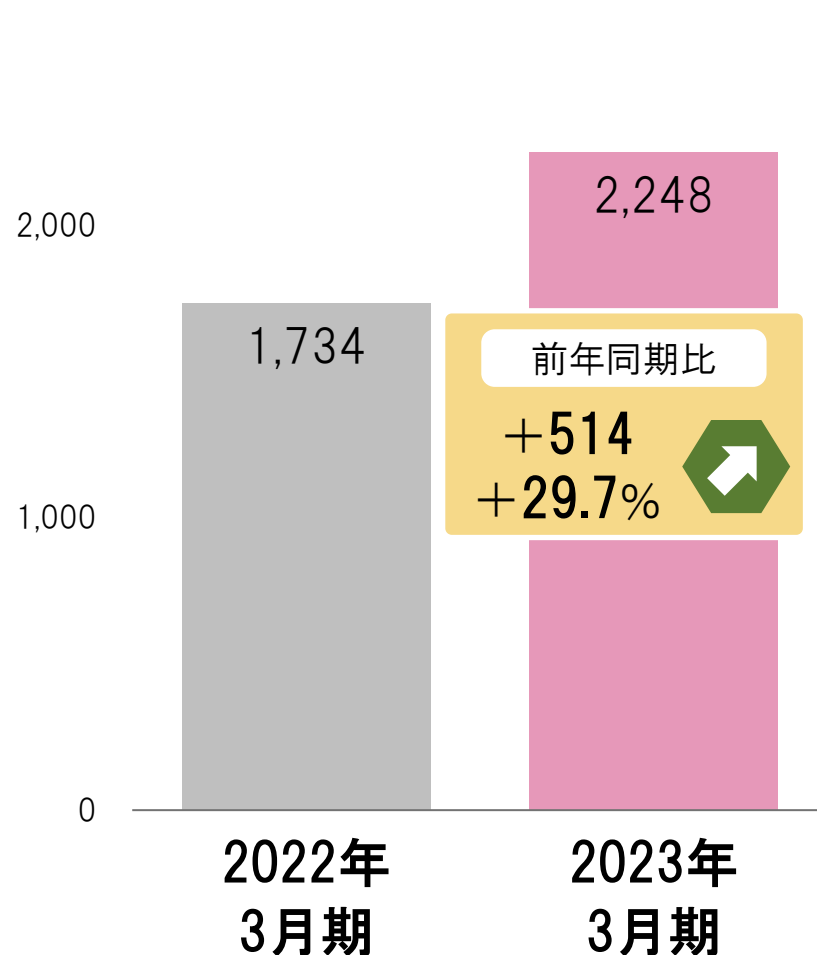
業績推移 ③: 経常利益

経常利益 2,248百万円

前年同期比 +514百万円
+29.7%

- 営業外収益減少 △121百万円
(うち為替差益減少 △118百万円)
- 営業外費用増加 +63百万円

(百万円)



業績推移 ④：親会社株主に帰属する当期純利益

親会社株主に帰属する
当期純利益 **1,558**百万円

前年同期比 **+831**百万円
+114.4%

- 特別損益 **+623**百万円
(うち投資有価証券売却益 **+616**百万円)
- 法人税等 **△87**百万円
- 非支配株主持分 **+394**百万円
(マイナス要因)

(百万円)

1,500

1,000

500

0

2022年
3月期

2023年
3月期

726

1,558

前年同期比

+831
+114.4%



販売区分



- 食用(常温)
- 食用(チルド)
- 食用(冷凍)
- 食用(その他)



- 健康
- 美容
- 栄養
- 再生医療
[バイオメディカル]



- 写真用・工業用
- 副産物(その他)

販売区分別 売上高

(百万円)	2022/3	2023/3	増減
フードソリューション	12,502	15,370	+22.9%
ヘルスサポート	15,480	18,802	+21.5%
スペシャリティーズ	3,800	5,013	+31.9%
合 計	31,783	39,186	+23.3%

1. 2023年3月期 実績

フードソリューション

売上高 **15,370**百万円

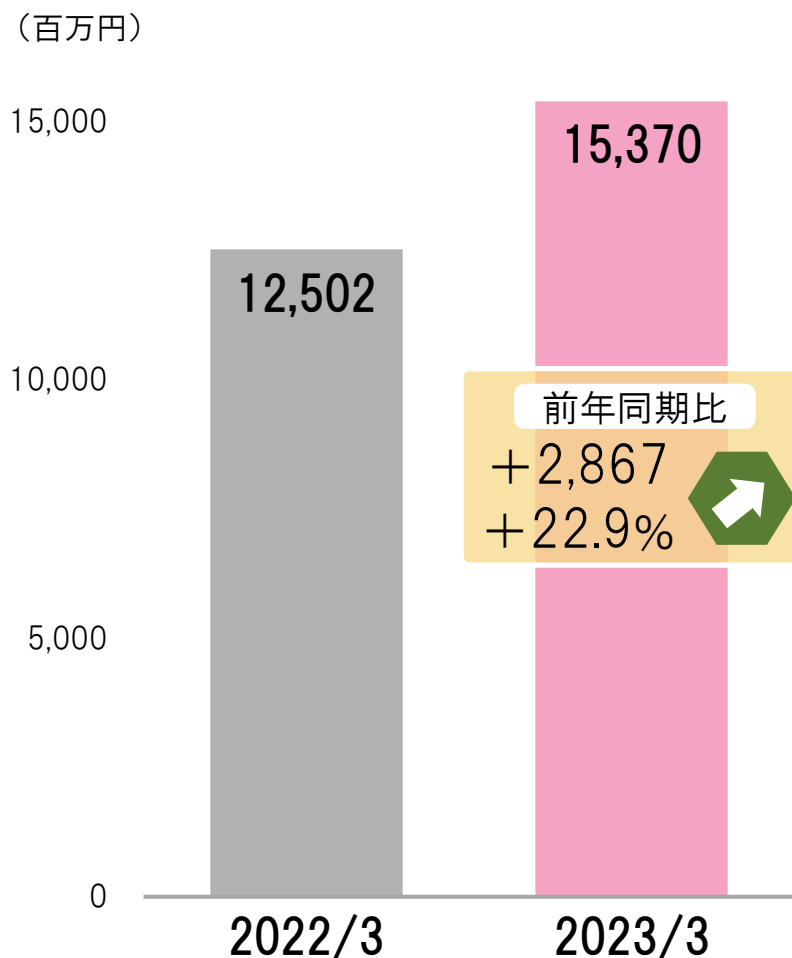
前年同期比 **+2,867**百万円
+22.9%

日本

- グミ用ゼラチンの売上増加
- 業務用スープ・調味料用の売上増加
- コンビニ向け総菜用途への売上増加

北米

- 食品用途へのゼラチン売上増加



1. 2023年3月期 実績

ヘルスサポート

売上高 **18,802**百万円

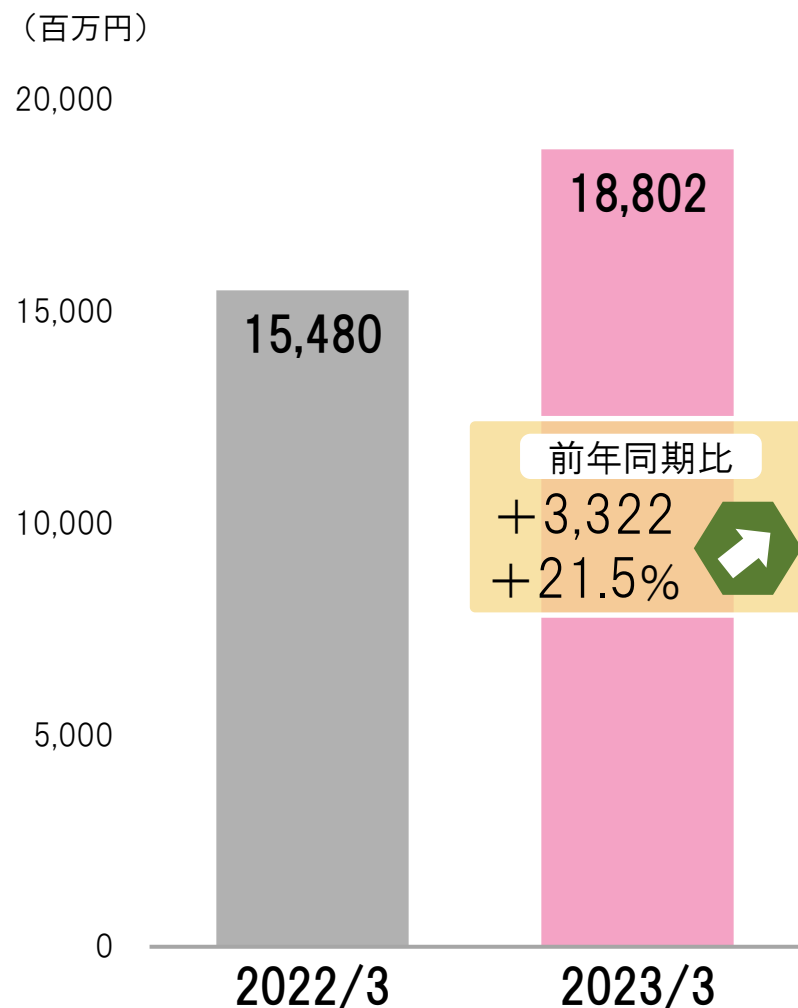
前年同期比 **+3,322**百万円
+21.5%

日本

- 日本でのカプセル用ゼラチンは売上増加、美容用CPtの売上は増加
- 健康食品の直販は、広告宣伝強化により売上増加

海外

- CPtは北米売上増加、アジア減少
- カプセル用ゼラチンは、北米、インドで売上増加



1. 2023年3月期 実績

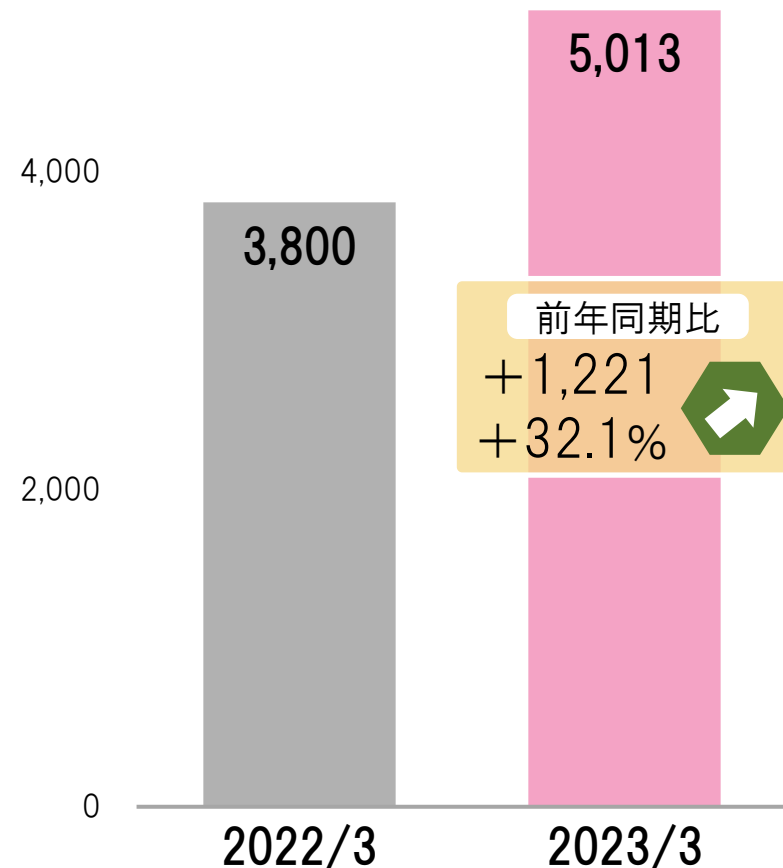
スペシャリティーズ

売上高 **5,013**百万円

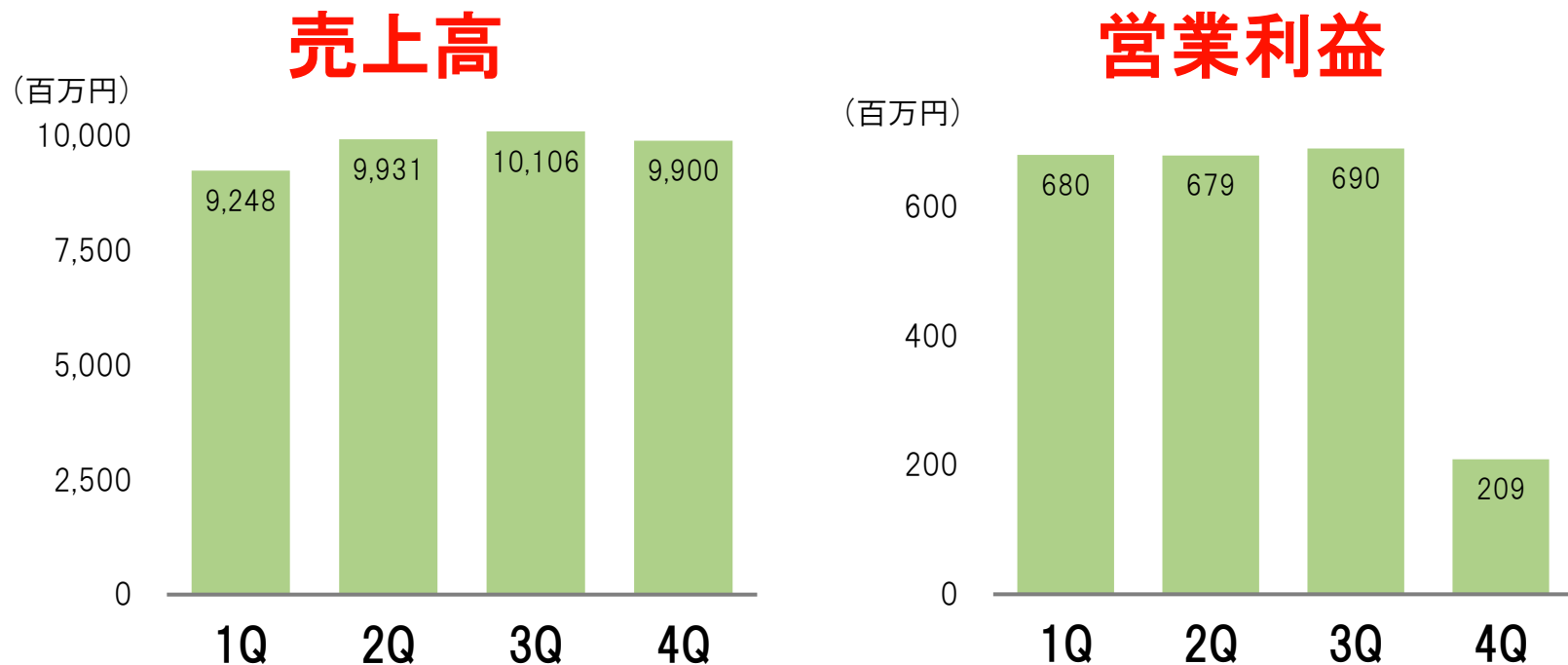
前年同期比 **+1,213**百万円
+31.9%

- 写真用、飼料・肥料向けDCP等の副産物の売上増加

(百万円)



四半期毎 連結 売上高、営業利益 推移 (2023年3月期)



4Q減益の主な要因

- 原材料、エネルギーコスト上昇、原材料廃棄処分
- 生産トラブル(北米、日本)
- 新研究棟竣工による償却費発生
- 積極的な広報活動など販売管理費の増加

1. 2023年3月期 実績

貸借対照表 (B/S)

- 売掛債権、たな卸資産増加
- 借入金、純資産増加

(百万円)	2022/3	2023/3	増減
流動資産	21,465	25,376	+3,910
現金・預金	3,046	2,856	△189
受取手形・売掛金	7,389	8,741	+1,352
たな卸資産	10,457	12,983	+2,525
その他流動資産	572	794	+222
固定資産	15,945	16,238	+292
有形固定資産	10,416	11,119	+703
無形固定資産	507	504	△2
投資等	5,021	4,614	△407
資産合計	37,410	41,614	+4,203

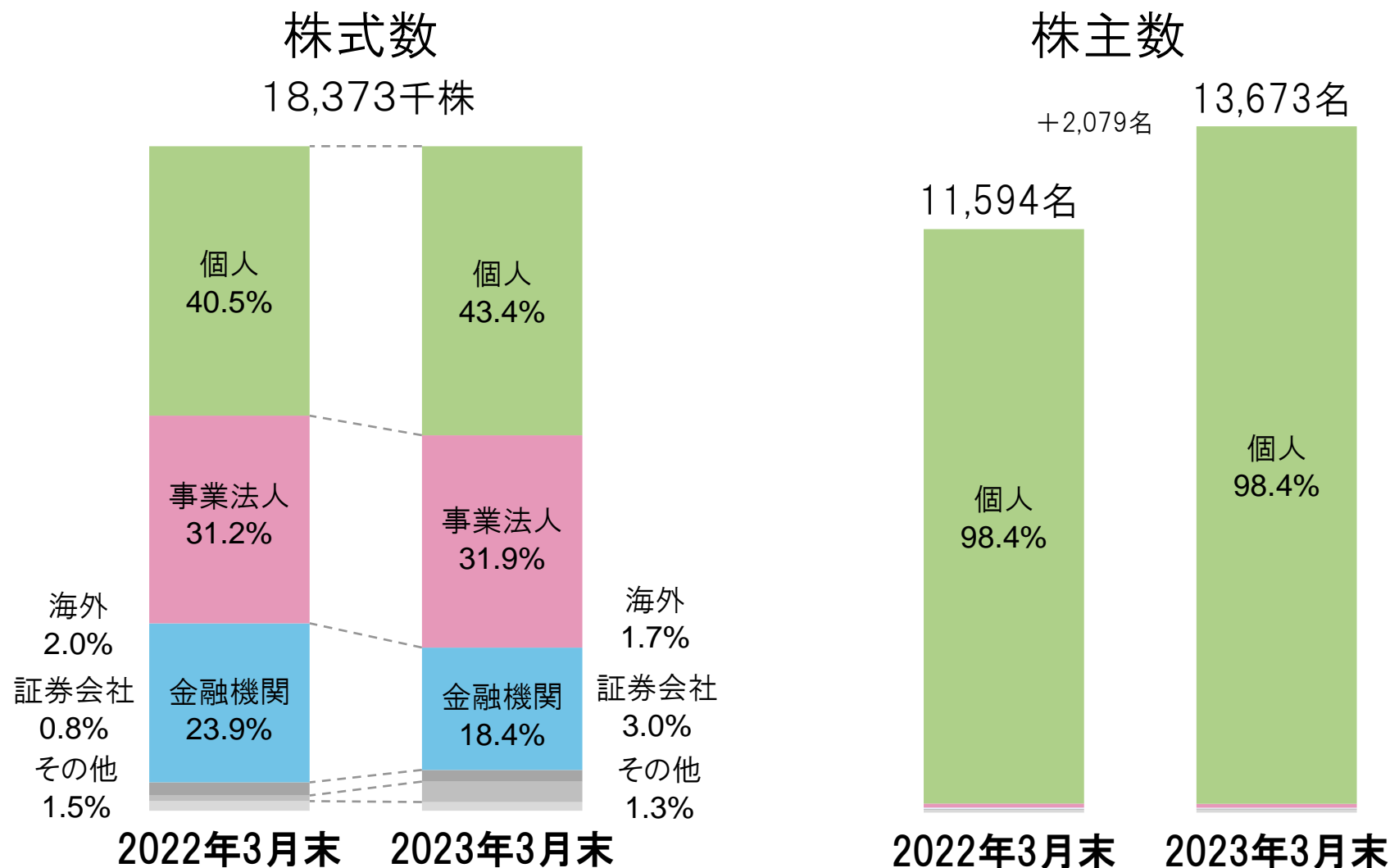
(百万円)	2022/3	2023/3	増減
流動負債	10,721	12,711	+1,989
支払手形・買掛金	2,745	2,818	+73
短期借入金等	4,181	5,989	+1,808
その他流動負債	3,795	3,902	+107
固定負債	6,126	6,646	+520
長期借入金等	3,573	4,118	+544
退職給付に係る負債	1,560	1,586	+25
その他固定負債	992	942	△49
負債合計	16,848	19,358	+2,509
株主資本	16,112	17,434	+1,321
その他包括利益累計額合計	1,969	1,662	△307
非支配株主持分	2,479	3,159	+680
純資産合計	20,562	22,256	+1,694
負債純資産合計	37,410	41,614	+4,203

キャッシュ・フロー計算書 (C/F)

- 営業CF: 売掛債権、たな卸資産の増加
- 投資CF: 有形固定資産取得による支出
- 財務CF: 短期借入金増加

(百万円)	2022年 3月期	2023年 3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,044	△540
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,325	△1,498
財務活動によるキャッシュ・フロー	△762	1,824
現金及び現金同等品の増減額	△967	△184
現金及び現金同等品の期末残高	3,030	2,846

株式分布変化



株主還元

<配当金>

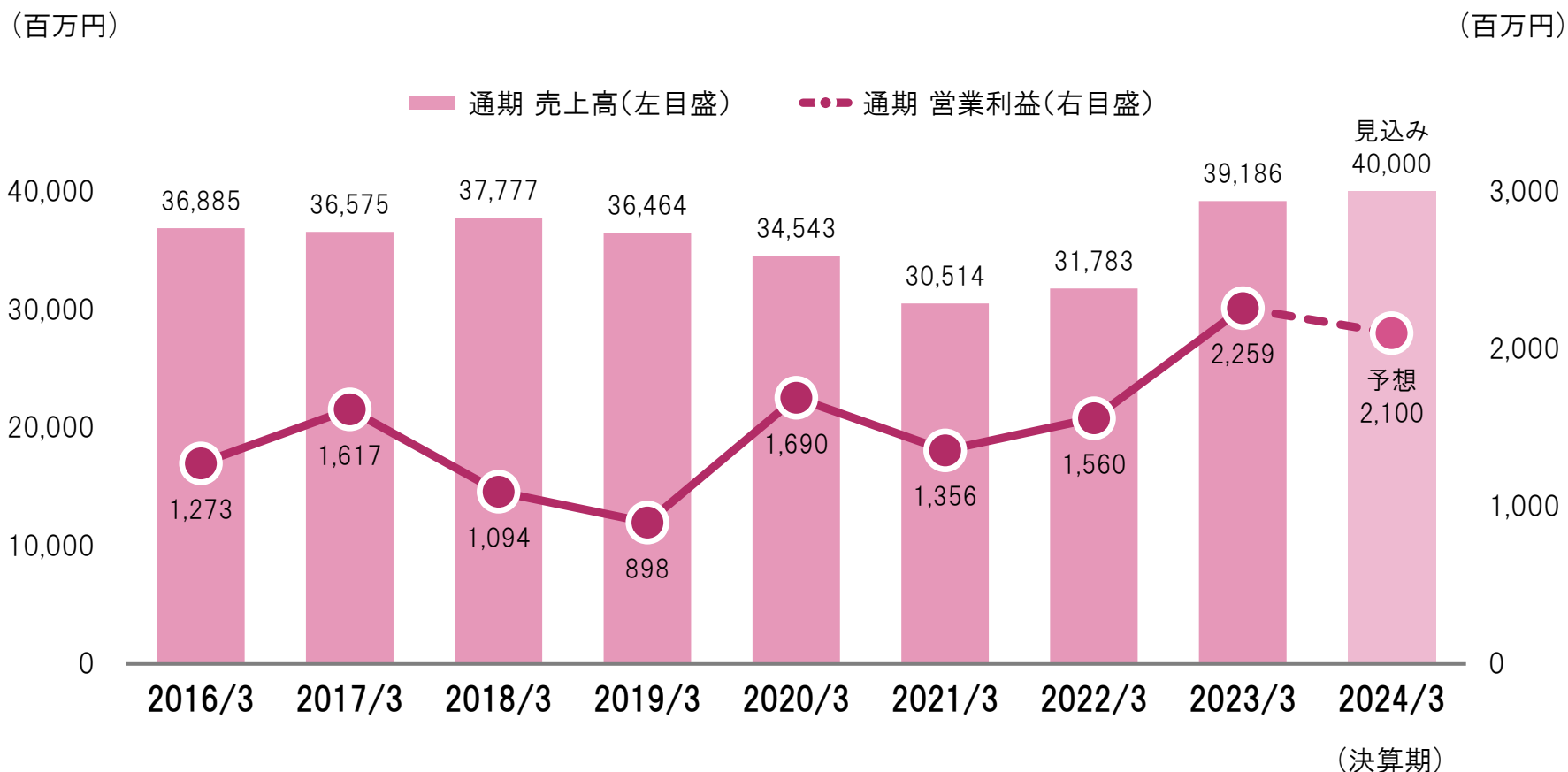
2023年3月期	中間配当金	7円
	期末配当金	9円(予定)
	合計	16円(予定)

<株主優待制度>

所有株式数	保有期間	贈呈内容	
100株以上 500株未満	3年未満	当社商品 (健康食品など)	1,000円相当
	3年以上		2,000円相当
500株以上	3年未満		3,000円相当
	3年以上		6,000円相当

3年以上保有とは： 当社の株主名簿に同一株主番号で3年以上連続して記載または記録され、1単元(100株)以上保有

連結 売上高、営業利益 実績・見込み推移



2. 2024年3月期業績予想

外部環境の認識

- 各国での新型コロナウイルス感染症拡大の鎮静化
- コロナ禍での健康意識の高まりによる、スポーツニュートリション製品やサプリメント需要の増加
- ロシアのウクライナ侵攻を起点とした資源価格や人件費の高騰などによる物価上昇
- 輸入原料、エネルギーコスト上昇

外部環境の認識 **日本**

- 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行による
外食産業向け需要が回復
- 訪日外国人増加によるインバウンド需要が回復
- コロナ禍での一般消費者の健康意識の高まりによる
タンパク質市場が拡大

外部環境の認識 **海外**

- 新型コロナウイルス感染症沈静化による経済活動、景気回復
- ロシアのウクライナ侵攻の長期化に伴うエネルギー、穀物価格の上昇
- 穀物価格上昇や干ばつによる原料価格上昇の懸念
- 北米、アジア
 - 北米・アジアともにグミ、サプリメント用ゼラチンの需要好調
 - 北米及びアジアでコラーゲンペプチドの需要堅調

今後の戦略課題

コア領域	事業エリア	事業戦略
フードソリューション	日本	<ul style="list-style-type: none"> 世界的にグミキャンディー市場の需要が増加しており、安定生産を確立し確実に供給する。 様々な食感を作り出す付加価値商品の開発 独自の技術を活かしたタンパク質補給商品の販売拡大
ヘルスサポート	日本	<ul style="list-style-type: none"> 一般消費者向け商品の認知度向上のための広告宣伝強化 スポーツニュートリション市場向け製品開発と販売
	北米 アジア	<ul style="list-style-type: none"> 「Wellnex(ウェルネックス)ブランド」の認知度拡大による美容用途コラーゲンペプチドの販売拡大
バイオメディカル	日本 アジア	<ul style="list-style-type: none"> 新研究開発・製造棟「みらい館」を活用した生産力、競争力と品質強化 中国・北米向けbeMatrix製品の販売拡大

2. 2024年3月期 業績予想

(百万円)		2023年3月期	2024年3月期 (予想)	前年同期比
売上高		39,186	40,000	+2.1%
営業利益		2,259	2,100	△7.1%
	利益率	5.7%	5.2%	△0.5%
経常利益		2,248	2,100	△6.6%
	利益率	5.7%	5.2%	△0.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益		1,558	1,200	△23.0%
	利益率	4.0%	3.0%	△1.0%

為替レート

(円)	2023年3月期実績	2024年3月期計画
米ドル	134.9	130.0
カナダドル	102.1	100.0
インドルピー	1.6	1.6

2. 2024年3月期 業績予想

販売区分別売上高予想

(百万円)	2023年3月期	2024年3月期 (予想)	増減
フードソリューション	15,370	18,000	+17.0%
ヘルスサポート	18,802	18,000	△4.2%
スペシャリティーズ	5,013	4,000	△20.2%
合 計	39,186	40,000	+2.0%

設備投資

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 (予想)
設備投資額	2,344	2,113	2,100
減価償却費	1,370	1,572	1,660

2024年3月期の主要な設備投資の概要

- 日本：耐震工事、環境保全対応
- 海外：北米、インドでの生産性向上設備導入、
環境保全対応

3. トピックス

城西大学男子駅伝部 箱根駅伝 総合9位

シード権獲得、区間新記録も達成！



ランショットで選手をサポート



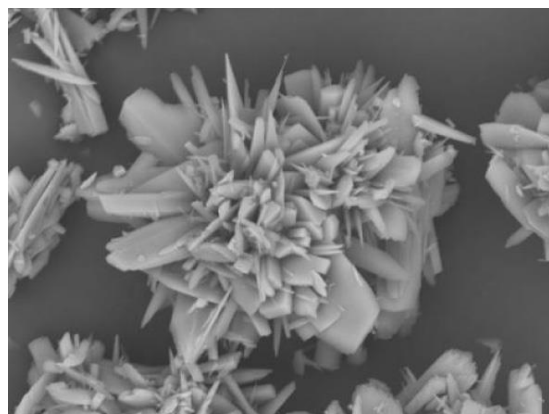
第32回 2023NEW環境展 に出展

5月24日～26日 東京ビッグサイト

フッ素吸着剤としてのDCP(第2リン酸カルシウム)

DCPは水に溶出したフッ素と反応し、安定なフッ化アパタイト(FAp)を生成

DCPの電子顕微鏡写真



花冠形状の粒子

